

巻頭特集 / 最新、最旬、今年のデニムスタイル決定版。

ライティング 3月号 第15巻 第54号 2008年3月10日 毎月11日発行

ライティング

Lightning

2008 Vol.167 3月号 定価 ¥630

Special Issue

2008 NEW DENIM STYLE

5pocket, Work, Jacket,
Shirts etc...

デニムの進化が
止まらない。

第2特集

こだわりの自分空間。





File#32 **MAZDA COSMO SPORT**



↑1967年から1972年までの5年間のあいだに、1176台が販売されたコスモスポーツ。当然ながら当時は賞格車にしかならない高価な2シータークーペであった



↑大胆なデザインのテールレンズは、ジェット機の噴出口のようなのだ



↑コスモスポーツには隠所に美しさを表現するポイントが存在する

↑この斬新なデザインはイタリア人？ それともドイツ人？ いいえ、これはたった日本人、小林平吉なる人物によるもの。もちろんマツダの社内デザイナーであった



↑発売当時、コスモを最もコスモらしく見せていたのがこのテールレンズ。なかなかの傑作だ



↑オリジナルのシートも年式の割にいい状態。もちろんこれにベースにアルミリアアームも付く



↑試乗車にはなんと純正のクーラーが装備されていた。座席後部から前方へ吹き出す仕組みなのだ



↑1967年当時のコスモスポーツは、右ハンドル車であった



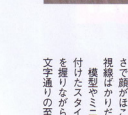
↑発売当時、コスモを最もコスモらしく見せていたのがこのテールレンズ。なかなかの傑作だ



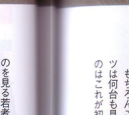
↑オリジナルのシートも年式の割にいい状態。もちろんこれにベースにアルミリアアームも付く



↑試乗車にはなんと純正のクーラーが装備されていた。座席後部から前方へ吹き出す仕組みなのだ



↑1967年当時のコスモスポーツは、右ハンドル車であった




↑1967年当時のコスモスポーツは、右ハンドル車であった

Yamahaの 実際どーなのよ!

低くて小柄なボディが最高。
軽快なスポーツクーペということで、ついついその性能を気にしてしまうのが人情だ。このクルマに対して速行性能はももちろん安全性能まで今の感覚で見るとナンセンスなことになる。高気圧も搭載してきつめのタイヤ。別に言えばその年式のキャブを忍びませてもしょうほど、このクルマのデザインは究極完成品とまでは言えない。

低回転のトルクでも……。
アウセルを深く踏み込んで、回転を上げ次第にクラッチを上げれば、クルマは元気な走りをする。そのまま踏み続けると3000rpm.を超えようというあたりから、クルマはスウーッと不気味な低スルーズに加減速していく。気がつけばとっくに100km/hはレッドゾーンに入っている。ロータリーフィールが!

希少価値を考えれば納得の価格。
しっかりと整備された状態では車両本体で268万円。機関が良好なものでもちろんそのまま売れるが、コレクターズアイテムとしても、フルレストアップのためのベースとして魅力も存在。純正アコン装備も見逃せない



楽しい旧車をプロデュース。

Rocky Auto (ロッキーオート)
TEL:44-0885
TEL:0664-556-7900
www.rockyauto.co.jp

東京高速の閉鎖インターチェンジを踏んで走り出そう。買車からも原因からアクセスが可能なショップ。絶景車をオリジナルにカスタムして走る技術も持っている。あえて“古い旧車”をプロデュースする



ああ、憧れの宇宙船。そのドライブフィールはトルクフルな2ストローク!

スーパージェッターの流星号や宇宙家ロビンソンに登場する得体的な知らないのりにも憧れた少年にとってこの1台はまさに特別! 今でも脚を熱くするクルマだ。

text:K.Yamazaki 山崎和彦
photo:T.Sakurai 桜井健雄
取材協力:ロッキーオート

http://www.rockyauto.co.jp

「Cosmo」